

産後パパ育休取得者 紹介

(那須工場初の男性育休であり、産後パパ育休制度スタート後二人目の取得者)

那須製造グループ 第1チーム

大金 直也さん(2016年4月入社 25歳)

期間:2023年6月26日~2023年7月21日

— パパ育休をとるきっかけはどんなことでしたか？

二人目の妊娠を上司に報告した際に、「こういう制度があるけど活用する？」と聞かれ、詳細について教えていただきました。

一人目の時よりも、妻への負担を考えると「取得させていただいた方がいいだろう」と思いましたので、妻と相談し、取得させていただくことにしました。二人目だったということが決断の大きな理由でした。

— 上司の反応はいかがでしたか？

SリーダーとAマネージャーに相談したのですが、「取れるなら取ってくれ」との反応で、大変ありがたかったです。「生産活動への影響が全くないわけではないが、先輩パパとして是非取得して欲しい」、と背中を押していただきました。

取得しやすい環境で、ありがたいなと思いました。友人や知人で育児をしている人はまだ少ないのですが、育休を取った男性は自分以外にいません。

— 取得期間中はどんな生活でしたか？

普段は妻に任せている食事の支度や育児について、積極的にサポートすることができたと思います。食事の支度については、ほとんど僕が対応していました。

他にも、上の子の幼稚園への送り出しや洗濯など、積極的に家事・育児に取り組むようにしました。

妻は僕が育休を取るならば、と里帰りはせずになりましたので、家族4人で良い時間を過ごすことができたと思います。

出産後の大変な時期にそばにいてタイムリーにサポートすることができたのは、とても良かったです。自分自身でも、大きな成果だったな、と思っています。

また、上の子供が赤ちゃん返りしてしまったため、夫婦二人で育児ができたことは子供にとっても良かったようで、妻も助かった、と言ってくれていました。

— 取得のタイミングや期間についてはどのように決めたのですか？

帝王切開での出産になることが初めから分かっていたので、妻と話し合い、出産から10日後(退院のタイミング)から1ヶ月取得することにしました。

上の子で経験があったので、妻もそれ以上望むことはなかったのですが、今後の中では予防接種などで手が必要になる場面がありますから、その際にはまた別の形で休暇の取得が必要になると考えています。

— 休業中、仕事のことは気になりましたか？

気にならなかったと言うと嘘になってしまいますが、バタバタしていたこともあって、会社に来ているときよりも育児、家事に専念していたと思っています。一日があつという間でした。

仕事については、特に CIP チームの活動が気になっていたのですが、何かあったら LINE して、と伝えておいたものの、相談は特になかったこともあり、安心して産後パパ育休を取得できました。

— 上の子の反応はいかがですか？

弟ができて喜んではいませんが、まだ気持ちの整理がついていない様子でもあります。精神的な負担もあるようで、急に泣き出したりすることもあったので、傍にいてあげられたのは大きかったな、と思っています。

— 経済的な不安についてはいかがでしたか？

結婚してすぐにマイホームを取得していることもあり、ギリギリのところでは生活をしているのですが、色々と考え、思い切って取得しようと思ったことは、正解だったと思っています。

金銭面を気にして毎日忙しく働いて育児と仕事を両立させるよりは、思い切って取得し、心にゆとりを持てることの方がメリットが大きいと考えました。

とは言え、生活費が底をついてしまったら本末転倒ですので、その辺は事前にちゃんと計画をした上で取得した方が良いと思います。

— 今後について何か計画などはありますか？(例えば産後パパ育休ではない育休など)

長期で休むことは必要ないのかな、と今は思っています。ただ、短期的にお休みが必要になることはあると思います。妻の傍にいたことで、育児中の時間の過ごし方の大変さを実感しました。

ただ休みたくて有休をとっているのとは違い、覚悟を持っての育休だったため、得ることも多かったと思っています。

— 育児休業を考えている方々などにメッセージをお願いします

妻の話に耳を傾け、何を欲しているかを理解し、環境も考えてタイミングや期間を決めた方がやれることが多いのではないかと思います。

妻が帝王切開だったため育休の予定が立てやすかったのですが、手が必要になるタイミングで休めたのはとても良かったと思っています。長いようであつという間の 1 ヶ月でした。

育休を勧めてくださった上司を始め、先輩、同僚、後輩の皆さん、サポートいただきありがとうございました！



2023年8月